

デイサービス敬老会

十月

こじか荘かわら版



9月から数日間行われたテイサービス敬老会。テイサービスの人魚たちによるシンクロの饗宴。いつも以上に脚あげて、筋肉痛もなんのその！演技の構成と完成度の高さは、まさに、百点満点！艶やかな化粧にうっとり、演技の華やかさに圧倒されるご利用者のみなさん！



見てください、この脚線美～！！
どれが誰の脚かは、みなさんのご想像にお・ま・か・せ☆

楽しく読者の宝箱です

- 1面・通所敬老会と目次
- 2面・今回は特養の特集
- 3面・日常のひとコマ
- 4面・職員自慢とコラムなど

見どころ満載の10月号

ある日のひとコマ



通所

特養

ワックス掛けについて

10月23日(木)
こじか荘全館、ワックス掛けを行います。当日は、業者の出入りもありますので、面会をお控えください。ご協力をお願いします。

掲示板

感染症予防について

感染症が心配される季節になりました。面会にお越しの際は、手洗い・うがいのご協力をお願いします。また、ご利用者への食べ物の持参は、職員へ声を掛けていただければと思います。

お礼とご協力を申し上げます！



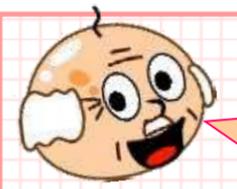
ご家族との大掃除について

10月5日(日)
ご家族との大掃除を行いました。当日は大勢のご家族の方にご参加いただきありがとうございました。職員一同、感謝しております。



吉舎ふれあい祭りについて

8月15日(金)
吉舎ふれあい祭りに灯ろうを出展しました。優勝には届きませんでしたが、満足できる作品が完成しました。来年もみなさんに驚ろいていただける作品を作成したいと思います。



夜の特養を案内しますけ〜！



わしゃ〜、こじか荘で生活しとる丸田という、おせっかいじいさんじゃ！日中は職員さんもぎょーさんおつてじゃが、夜になったら50数名のご利用者を2人の職員さんが交代して働いとつてんじゃと！わしらが安心してゆつくり休めるように、何をしょーつてか、案内しますけ〜！この前の夜、徹夜して写真も撮ったけえ、よう分かると思いますよ〜！



16時30分の申し送りじゃの。年を取りや体調崩したり、熱が出たりするけえ看護師さんから皆の様子や注意点を聞きようんじゃと！「よろしゅ〜頼むで！！」



20時からの水分補給の時間じゃ。えつとごそごそ動かんでも水分は飲まんといけんで〜！特に寝る前の水分補給は大切じゃけえ、職員さんが持ってきてくれてんよ！



見回りの最中じゃ！夜は何回も何回も見回りをしてくれる。ただ回るだけじゃなくて、熱を測ったり、床ずれにならんように体位交換をしたり、呼び出しボタンを押すとすぐきてくれてじゃし！頼りになるよ〜！



緊急じゃ〜〜〜！この日は、わしの仲良しのおじいさんが高熱が出たんじゃと！ほんま心配したで。じゃが、職員さんが看護師さんへ電話しょ〜ちやつたんよ！え〜つと、オンコール…？だったかいね？



特養は、わしの家じゃけ〜ね。安心して夜を過ごせるのも職員さんのお陰かもしれんね〜！ほんまに夜勤は休憩も少ないし大変じゃろと思うてあげるんよ〜。じゃが、もつとも〜つと、わしらがゆつくり安心して休めるように頑張つてや！あんたら職員さんには期待しとるよ〜！褒めたらきりがなけえ〜これくらいにしときますけ〜！案内役のおせっかいじいさんでした〜☆

オンコールって??

オンコールとは、夜間の急変時の対応として、看護職が待機する事。いつでも出動要請に応えられるよう、連絡が取れる状態である必要があります。

介護士に聞きました！夜勤で一番気を付ける事は？



介護士の坂本さん

見回りの時に、異常の早期発見が出来るように、とくに注意しています！眠いなんて言ってもらえません！



看護課長の上田さん

日中に勤務した看護師が夜間を担当する事になっています。皆、自分が当番の時には、日中のご利用者の状態を把握し、夜勤者への申し送り以外でも勤務内で気づきなどを知らせています。また、夜勤者からのオンコールがあれば、ご利用者の状態を聞き、夜勤者に分かりやすく、安心して対応が出来るような指示を心掛けています。やはり、ご利用者にゆつくり休んでいただける事が一番だと考えています。看護職みんなが自分の当番の時には、携帯電話はずっと肌身離さず持っています^^;



介護士の熊谷さん

体調の悪い方がおられるとバイタルチェックなどこまめに行います。朝が来ると「何もなくて良かった」とホッとします！

第9弾

こじか荘の職員自慢!



ケアプラン作成はその方の人生設計



繊細かつパワフルに地域の方を支えます!

私のささやかな楽しみ、それは、テレビを見ること。行った事のない場所や体験したことがない事でも、実際に自分が行って、体験した気分になれる、そんなところが面白い。子どもの頃に放送された『細腕繁盛記』や山口百恵さんの『赤いシリーズ』、あり得ない事が次々と巻き起こり、ワクワクして見ていました。

最近では、朝の連続ドラマ『花子とアン』。花子の本への一途な情熱、彼女を取り巻く人達の温かさやたくましく生きる姿が、私に元気を与えてくれます。戦時下の苦しい中、最愛の子どもや恋人を亡くし、生きる希望を失いかけている中でも、再び、小さな光を見つけ、復活していく姿に、人間の持つ凄さを感じました。

私も花子達の生きる姿に学び、想像の翼を広げ、日々、たくましく生きていきたいと思っています。

「私のささやかな楽しみ」

そして寄り添う心のケアマネ



ケアマネージャー 小玉 寧子

寄付

匿名 (ごやがいも)

9月 26日 横山タニエ様(いんげん)
23日 星埜 社中様(お茶会)
11日 宮地 順子様(腹話術他)
23日 やすらぎ隊(グッズ交換)

ボランティア

8月 5日 音野 伸貴様 (夏体験ボランティア)
3日 住吉 彩菜様 (ボランティア体験)

7月 15日 鮎谷 美紀枝様(散髪)
19日 むすび会様(グッズ交換)
26日 やすらぎ隊(グッズ交換)

12日 みどりケ丘子ども会様 (予供神輿)

あひだのふりかえり



ボランティア係り 介護士 森本幸雄

新人職員の紹介



介護士 陶山 和伸

はじめまして。介護士として10月から勤めさせていただくことになりました。笑顔と真心を大切に、楽しく仕事をしたいです。よろしくをお願いします。

編集後記



編集委員 丸田竜士

過ごしやすい季節となりました。こじか荘では、年末へ向けて行事が盛り沢山です。また、報告できればと思います。

俺の部屋

(好評?につき私のコラム連載します^^)

鼻を突き、思わずむせてしまうほどの異臭。家の中の異常なまでの土砂の量。住民と共に生活してきた無残にも大破した家財道具。

八月二〇日に発生した同時多発的土砂災害の復旧ボランティアへ参加しています。死者七十四名という、甚大な災害を目の当たりにすると恐怖と悲しみがこみ上げてきます。ボランティアがする事は、土砂の撤去、家屋の清掃作業、そして、家財道具の撤去である。六回ほどしか参加出来ないが、先日行ったのは、ひとり暮らしのおばあちゃんの家。増してくる濁流の中、何とか避難し、近所の皆さんのお陰と命の尊さを感じておられた。

冷蔵庫、台所、靴や生活雑貨すべてを家から撤去した跡には、一カ月経った土砂の異臭が漂っているだけ。その家財をゴミ収集車が持つて帰るのだが、その光景が辛かった。おばあちゃんが使っていた思い出の物がバリツ、バリバリツと鈍い音をたて、潰され、収集車の中へ消えていく。涙が出そうになるくらいその音が悲しかった。災害後は毎日、大勢のボランティアが参加し、同じような作業をいたる所で行っている。まだまだ土砂の撤去もままならない場所も多く、継続的なボランティアや支援が必要とされている。私も、休みの都合が付けば、一回でも多く参加したいと思う。

災害で亡くなられた方々へご冥福をお祈りします。

丸田竜士